



板一小だより

第 473 号

令和 8 年 4 月 8 日発行

板橋区立板橋第一小学校

校長 稲木 努

【教育目標】 **知恵** 自分で考え、表現できる子 **心** 思いやりをもち、認め合える子 **元気** 心と体を大切にし、学び続ける子

【保幼小中連携】 板三中・板一小・板八小・中根橋小

「小中一貫板三エリア」4校で一貫した教育理念の下、義務教育9年間で子どもたちを育てます。

共に創る幸せな学校

校長 稲木 努

本日 81 名の新 1 年生を迎え、全校児童 542 名で令和 8 年度の教育活動をスタートしました。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級誠にありがとうございます。教職員一同、心よりお慶び申し上げます。

この度、荻久保 剛正校長の後任として、4 月 1 日に板橋第一小学校長に着任いたしました。150 年以上の歴史を刻み、保護者・地域の皆様に温かく育まれてきた本校の舵取を引き継いだことに、身の引き締まる思いであります。皆様の力強いご支援をいただきながら、教職員が一丸となり「チーム板一」として、子どもたち一人ひとりを健やかに育てよう、「全力投球」でまいります。どうぞよろしく願いいたします。

「共に創る幸せな学校」をめざして

本校のめざす姿は、「共に創る幸せな学校」です。

「共に」とは、子どもと教職員だけでなく、保護者、地域の皆様や、あいキッズ、行政、地域で働くプロフェッショナルの方など板橋第一小学校に関わる全ての方と手を取り合うことを意味しています。

「創る」とは、新しいものを生み出すという意味があります。そのためには、子どもたちが主体の学びを充実させていくことが大切です。日々の学習において、教師主導の学習だけでなく、**子どもたちが学習課題や学習方法等を自己調整、自己決定する主体的な学び**を、各教科等で、子どもたちの発達段階に応じて計画的に進めて参ります。

「幸せ」とは、過去にとったアンケートで、子ども、保護者、教職員に共通し、かつ 1 番多かったのは、「**笑顔あふれる楽しい学校**」でした。私は、これは、学校の原点であり、最も大切な願いの一つだと考えます。

子どもたちの学びが充実し、笑顔あふれる楽しい学校となるよう教職員一同全力を傾ける所存です。

子どもたちの学びの充実と教職員の働き方改革を両立させるためには、皆様のご理解ご協力が欠かせません。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

さて、今朝の始業式で、私は子どもたちに次の五つのことを話しました。

1 「元気にあいさつ、よい返事!」を心がけること。

あいさつは、元気のもとです。

私も、できる限り、朝校門に立ちます。皆さんと元気にあいさつできるのが楽しみです。

2 話は、目・耳・心でしっかりと聴き、自分の頭でしっかりと考えること。

先生や友達の話をも、一生懸命聞き、自分で思ったり考えたりしたことを、書いたり発表したりしましょう。

3 友達にやさしくすること。

今までの友達はもちろん、新しいクラスの友達も大切にしましょう。

4 「ABCD」を大切にすること。Aあたり前のことを、Bばかにしないで、Cちゃんと、Dできる子。

遅刻をしない、授業にしっかりと参加するなど、板一小のルールをしっかりと守ってください。

5 「迷ったらGO!」 GO! は英語で、進んでいく、やってみるという意味があります。心からよいと思ったことは、少し面倒でも、勇気をもって挑戦してみましよう。

私は、この五つのことを折に触れて子どもたちに話しています。ぜひご家庭においても、学校生活の基本として取り上げていただき、お子様との話題にしてください。

I 「健やかに育つ学びのエリア（板橋三中・板一小・板八小・中根橋小）」 めざす子ども像

- 基礎学力を習得し、その活用ができる児童・生徒
- 他者と協働しながら、自ら考え判断できる児童・生徒
- 心身ともに健康で、豊かな人間性を身に付けた児童・生徒

II 本校の教育目標

- 「知 恵」 自分で考え、表現できる子
- 「心」 思いやりをもち、認め合える子
- 「元 氣」 心と体を大切にし、学び続ける子

III めざす学校像 「共に創る幸せな学校」

「MIRAI SCHOOL いたばし - 教育ビジョン2035 - 教育は人が幸せに生きるためにある」の理念を踏まえ、児童、保護者、地域、教職員それぞれの立場から考える「幸せな学校」を考え創っていくことをめざす。

IV 学校経営方針

迷ったら Go! 「安全・安心」、「健康」、「人権」を土台に、失敗を恐れずよいと思ったことには積極的に挑戦する「迷ったら Go!」の精神を教職員・児童が共有し、子どもたちが主体的に学び、笑顔あふれる「幸せな学校」を、地域・保護者と共に創り上げる。

1 学力向上 「自分の思い、願い、考えをもち 豊かに表現できる子の育成」

- (1) 板橋区授業スタンダード B（ベーシック）・S（セルフ、セレクト）を基軸に探求的な学びの実践。
 - ・生活科・総合的な学習の時間を基軸に、子どもの探求的な学びを推進していく。
 - ・B Input - Think - Output（I-T-O）でつなぐ授業！表現（Output）することまで含めた「めあて」の提示
 - ・S 自分の学習の進め方を自分で選ぶ、決める学習の計画的実施！
- (2) チーム学年での指導 教科担任制や副担任制、交換授業等を導入し、学年で子どもたちを指導する。
- (3) 基礎・基本の徹底 モジュールの時間、朝学習、放課後学習等の効果的活用
MIMの活用、丁寧な読み取り、考えを書く時間の確保等を通し、着実に学習の基礎を身に付ける。
- (4) 一人一台端末、ICT機器等の効果的活用
文具（学校や家庭学習等）・教具（電子黒板、実物投影機、教員用PC等）としての活用
情報モラル教育の充実（端末使用のルール、個人情報）、学習の個別最適化（Surala-i等の活用）
- (5) 地域と連携した単元の開発「生活科」、「総合的な学習の時間」を中心に「地域のよさを語る子」を育成
- (6) 読書活動の充実
- (7) 特別活動の充実

2 健やかな心と体の成長 「誰一人取り残さない教育の推進」

- (1) あいさつの励行（生活指導の目標） 「すすんできもちよいあいさつをしよう」の推進
- (2) 特別支援教育、不登校対策の充実 誰一人取り残さない学びの推進
特別支援校内委員会、不登校対策委員会の計画的な実施。
特別支援教室（なのはな教室）との連携の充実
- (3) いじめ防止・対応の充実 早期発見、早期解決（毎学期の調査、いじめに関する授業、いじめ防止対策委員会の計画的な実施）
- (4) 体力の向上 体育授業の充実、体育朝会等の体育的活動の計画的な実施 運動の日常化
- (5) 道徳教育の充実

3 保護者・地域との連携 「チーム板一!」「板一愛!」

- (1) CS委員会・学校支援地域本部を両輪とし、PTA等地域と連携した学校運営
- (2) 外部機関との連携 「子ども家庭総合支援センター」「区教委」「警察」「SSW」「スクールローヤー」等